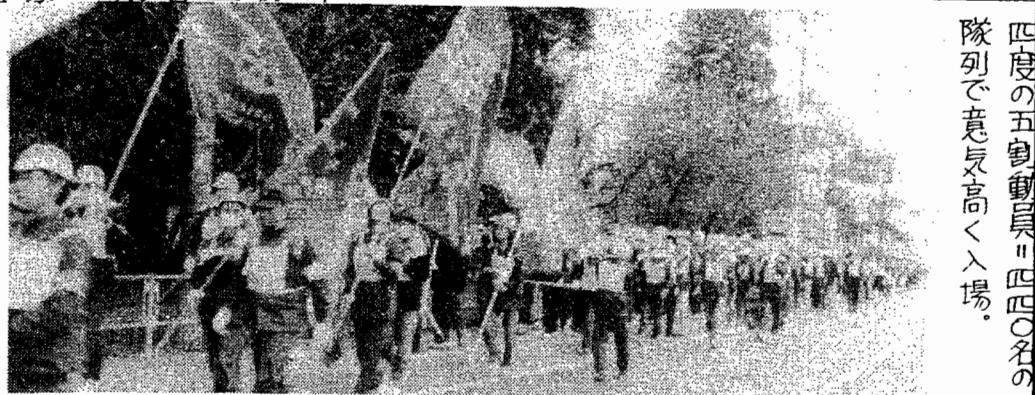


空港実力魔港への 大展望ひらく10・20に いざ、11月国鉄決戦ストへ



四度の五割動員＝四四〇名の
隊列で意気高く入場。

日刊 動労千葉

85. 10. 22

No. 2070

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

十月二十日、三里塚第一公園で「10・20二期工事阻止、不法収用法弾劾、成田用水実力阻止、東峰裁判闘争勝利、動労千葉支援、脱落派粉碎・一掃、全国総決起集会」が開催され、二期阻止への怒りを叩きつけるとともに、動労千葉ストライキの支援に全力で取り組むことを決定し圧倒的成功をかちとつた。

三里塚と国鉄で

中曽根打倒を

集会は、一万四千九百名という会場あふれんばかりの大結集の下、午後一時始つた。

開会宣言にたつた島村良助さんは「今われわれが闘わねば明日戦争があつてもおかしくない情況だ。三里塚は二十年の闘いで一步も敗けてはいない。中曽根打倒へ向け、動労千葉と車の両輪となつて闘おう」と勝利への確信をこめ訴えた。

本部役員・小川嘉吉さんの主催者代表あいさつに続き、基調報告にたつた北原事務局長は、土たん場に追いまれた政府・公団が十月末、成田用水強行着工、東峰裁判の十一月判決を策していることに怒りをこめ、実力闘争で断固これを阻止しようとして訴え、同時に、十月十三日に動労千葉ストライキ支援共闘会議が結成されたことを明らかにし、全労働者・市民が動労千葉支援に決起することを訴えた。

重刑攻撃をうけて立つ

―東峰被告団決意―

三君を守る会代表、関川幸氏につづき、東峰裁判被告を代表して秋葉義光氏は、「来月の判決を真正面からうけてたつ」と敵の重刑―屈服攻撃を断固粉碎し闘うという烈々たる決意を述べた。

成田用水決戦の現地を代表して立つた鈴木幸司さん、萩原勇一さんは、「機動隊が作った用水を許すな。第二・第三の砦を立てて断固阻止する」と、不退転の決意を明らかにした。



1万4900の結集を前に、「11月国鉄決戦ストライキ敵」の檄を發する
動労千葉・中野委員長

中野委員長

スト貫徹へ全国へ檄

十一月ストの前段闘争としてかまえ、四四〇名の大結集で、四度の五割動員をかちとり、参加した動労千葉を代表して特別報告にたつた中野委員長は、「三里塚・国鉄決戦で、中曽根を打倒する。11・17全国鉄労働者集会を事実上のスト突入宣言の日とし、全国鉄労働者を組織し、十一月ストへ進撃する。全国の労働者の支援を心から訴える」と、全国へ檄を發した。

反対同盟・動労千葉の檄に込め、全国の住民団体・支援団体より連帯と決意の表明が次々と行われた。

集会宣言・スローガン採択で集会を終了した後、会場内にまでガス弾を撃ちこむという国家権力機動隊の弾圧をはねのけ、動労千葉を先頭に各労組・各住民団体・市民団体は、断固としてデモを貫徹した。

10・20闘争の大勝利を期して、いざ総力でストライキへ！